

第七十四回
貴族院

軍馬資源保護法案特別委員會議事速記録第二號

昭和十四年三月十日(金曜日)午前十時十分開會

○委員長(伯爵萬口直亮君) ソレデハ是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、昨日ニ引續キ質問ヲ願ヒマスガ、昨日申上ダマシタ通り、先づ政府ノ御説明ヲ伺ヒタイト存ジマス

○政府委員(荷見安君) 昨日申上ダマシタヤウニ、今回ノ軍馬資源保護法案、種馬統制法案等ハ内地馬政計畫ニ基イテ立案致シタモノデゴザイマスノデ、極ク簡単ニ此ノ概要ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、内地馬政計畫ハ、昨年ノ八月ニ馬政調査會ノ決議ニ依リマシテ決定ヲ致シタノデゴザイマスガ、ソレヲ決定致シマスル基礎ト致シマシテハ、日滿ニ瓦ル馬政國策ト、馬政ニ關スル陸軍ノ要望事項ノ二ツヲ基礎ト致シ立案ヲ致シタノデゴザイマシテ、此ノ事ヲ申上げテ見タイト思フノデアリマス、此ノ内容ハ、内地馬政計畫提要ト名前ノ付シテアリマスル印刷物ノ一頁ニ日滿ニ瓦ル馬政國策ガゴザイマシテ、三頁以下ニ内地馬政計畫ガゴザイマス、ソレカラ別紙デ御手許ニ差上ダマシタ中ニ、一枚刷リデ馬政ニ關スル陸軍ノ要望事項ト云フノガゴザイマスコ

トヲ最初ニ申上ゲテ置キマス、第一ニ日満ニ瓦ル馬政國策ニ關シテ申上ダマスト、今回ノ支那事變ノ經驗ニ徴シマシテ、又現下ノ國際情勢カラ考察致シマスレバ、大陸方面ニ於キマスル軍馬資源培養ノ必要ガ益、痛切ニ感ゼラレル次第デアリマスノデ、内地、朝鮮、臺灣、樺太、滿洲等ニ於キマスル馬ノ資源ノ現状ニ照シマシテ、從來ノ是等各地ノ馬政計畫デ行キマシテハ到底急速ニ軍ノ需要ヲ充足スルコトガ出來ナイバカリデナク、銃後產業ノ確實ヲ期スルコトモ亦困難ナ實情デアルノデアリマス、茲ニチヨット申上ダマスガ、世間デハ動モ致シマスレバ滿洲馬ガ内地馬ヨリモ優レテ居ルト云事實ハ全ク之ニ反スルノデゴザイマシテ、内地馬ハ軍ノ要求ヲ十分ニ充足スル爲ニハ、今後モ尙資質ノ向上改善ヲ圖ル必要アルコトハ勿論デアリマスケレドモ、内地馬ハ内地ニ於キマシテ多年改良ノ結果、改善ヲ見テ居ルノデアリマスカラ、滿洲馬等ニ比較スレバ、其ノ能力ハ遙カニ優レテ居ルコトハ勿論デアリマスケレドモ、内地馬シ、優良ナル國內產竝ニ日本產種馬ノ供用シ依リ改良ヲ促進スルノ外、銳意馬ノ増産ニ努メ別ニ爲シ得ル限り多數ノ有能日本產馬ヲ移民地ノ他所要ノ地方ニ輸入シ馬ノ譯デゴザイマス、左様ナ次第デゴザイマスノ

トヲ最初ニ申上ゲテ置キマス、第一ニ日満ニ瓦ル馬政國策ニ關シテ申上ダマシテ、又現下ノ國際情勢カラ考察致シマスレバ、大陸方面ニ於キマスル軍馬資源培養ノ必要ガ益、痛切ニ感ゼラレル次第デアリマスノデ、内地、外地、滿洲等ニ於キマスル產馬ノ維持ノ確實ヲ期シマスル爲ニハ、各地ニ詰リ内地、外地、滿洲等ニ於キマスル優秀ナル馬ノ生產技術ト資質竝馬利用上ノ特性ヲ考慮致シマシテ、内地ニ於キマスル優秀ナル馬ノ生產技術ト種馬ノ資源トヲ以テ外地及滿洲等ニ積極的ノ援助ヲ與ヘマスト共ニ、内地生産ノ有能馬、特ニ戰列部隊所要ノ有能馬ヲ必要ノ地方ニ移シ、分布ノ調整ヲ圖リマス等、内地、外地、滿洲等ヲ打ッテ一丸トシタル、馬政國策ヲ確立致シマシテ、一層相互ノ連絡ヲ緊密ニ致シ、以テ現下ノ情勢ニ對應スルニ遺憾ナカラシメヨウト云フ趣旨ヲ以チマシテ、昨年ノ六月以來企畫院ニ關係各省ノ者ガ集リマシテ、協議ヲ遂ダマシタ結果、七月初旬ニ茲ニ申上ダマシタ日満ニ瓦ル馬政國策ニ關スル閣議ノ決定ヲ見タ次第デアリマス、此ノ日満ニ瓦ル馬政國策ヲ、一應此ノ本文ニ付テ申上ゲテ參リマスト、日満ニ

トヲ最初ニ申上ゲテ置キマス、第一ニ日満ニ瓦ル馬政國策ニ關シテ申上ダマシテ、又現下ノ國際情勢カラ考察致シマスレバ、大陸方面ニ於キマスル軍馬ノ資源培養ノ必要ガ益、痛切ニ感ゼラレル次第デアリマスノデ、内地、外地、滿洲等ニ於キマスル產馬ノ維持ノ確實ヲ期シマスル爲ニハ、各地ニ詰リ内地、外地、滿洲等ニ於キマスル優秀ナル馬ノ生產技術ト資質竝馬利用上ノ特性ヲ考慮致シマシテ、内地ニ於キマスル優秀ナル馬ノ生產技術ト種馬ノ資源トヲ以テ外地及滿洲等ニ積極的ノ維持ニ努メ、且外地及滿洲國ニ於ケル軍ト共ニ、生產力ヲ擴充シ、以テ國內保有馬ノ維持ニ努メ、且外地及滿洲國ニ於ケル軍ニ戰列部隊所要ノ有能馬ヲ供給スルヲ主眼トシ、銳意國內保有馬ノ資質向上ヲ圖ルマシテハ内地ニ於テハ軍所用ノ有能馬、特ニ戰列部隊所要ノ有能馬ヲ供給スルヲ主眼トシ、銳意國內保有馬ノ資質向上ヲ圖ル馬資源ノ培養竝ニ改良促進ニ付キ積極的援助ヲ圖ルコトト云フノデゴザイマス、一ハ、馬資源ノ培養竝ニ改良促進ニ付キ積極的援助ヲ圖ルコトト云フノデゴザイマス、二ハ、馬資源ノ培養竝ニ改良促進ニ付キ積極的援助ヲ圖ルコトト云フノデゴザイマス、三、滿洲ニ於テハ軍所要馬數ヲ整備スルヲ主眼トシ、差當リ内地馬ノ移植ヲ圖リ、且漸次現地ニ於ケル生產ニ依リ馬資源ヲ充實スルコト、三、滿洲ニ於テハ軍所要ノ有能小格馬ノ供給ヲ潤澤ナラシムルヲ主眼トシ、優良ナル國內產竝ニ日本產種馬ノ供用シ依リ改良ヲ促進スルノ外、銳意馬ノ増産ニ努メ別ニ爲シ得ル限り多數ノ有能日本產馬ヲ移民地ノ他所要ノ地方ニ輸入シ馬ノ譯デゴザイマス、左様ナ次第デゴザイマスノ

決定致シマシタ、内外地、満洲等ニ瓦ル馬政國策ノ要綱デアリマス、次ニ馬政ニ關スル陸軍ノ要望ニ付テ一言申上ゲマス、陸軍ニ於カレマシテモ今次支那事變ニ依ツテ得タル徵發馬ノ資格及能力ニ關シ具ニ検討ヲ重ネラレマシタ結果、馬政第二次計畫ヲ以テシマシテハ、軍ノ要求ヲ充シ得ザルモノガアリマスノ鑑ミマシテ、陸軍大臣ヨリ農林大臣ニ對シ馬政ニ關スル要望ガアッタノデアリマス、其ノ要望ノ内容ノ概略ハ第一ガ產馬ノ方針、第二ガ生産、第三ガ國內保有馬ノ資質、能力ノ向上、第四ガ競馬ニ對スル指導方針、第五ガ外地其ノ他ノ馬產促進デアリマス、第一ノ產馬ノ方針ニ關スル要望トシマシテハ、軍馬ノ資格ヲ明示致シマシテ、尙今次事變ニ於キマスル徵發馬ハ、體幅骨量ノ乏シク胸ガ狹ク四肢細長デ體質虛弱ナルモノガアッタノニ鑑ミマシテ、低身、廣軀、四肢強健ニシテ負擔力、輓曳力且軍所要馬ノ大部分ヲ占ヌマスル輓型馬ヲ生産スルヲ以テ第一義ト爲シ、乘型馬ノ生産ハ、平時ニ於ケル軍ノ需要ヲ充スヲ目途トシテ、之ヲ制限スルコトト云フノデアリマス、第一ノ生産ニ關スル要望ハ、馬改良

ノ根幹デアリマス種牡馬ノ大部分ヲ民有トシテ從來ノ通り放置致スコトニ致シマスレバ、馬ノ資質ノ向上モ期シ難ク、又其ノ改良ノ促進ニ不便ガアルバカリデナク、民間ノ嗜好等ニ累セラレマシテ所期ノ改良ヲ遂行スルコトガ出來ナイ虞ガアリマス、就中種牡馬ノ一般的資質ニ鑑ミ產馬ノ方針ニ適應スルヤウニ、其ノ種類及素質ヲ整理改善スルコトハ最モ緊要デアリマスカラ、戰列駄馬以上ノ軍馬生産ニ供用スル種牡馬ヲ第一著手ト致シ、種牡馬ハ全部之ヲ國有トスルコトデアリマス、尙種牝馬ニ付テハ其ノ一般的資質ニ見テ、產馬ノ方針ニ即應スルヤウニ其ノ種類及素質ヲ整理改善スル必要ガアルコトハ勿論デアリマスガ、特ニ戰列部隊所要馬ノ生産ニ供用スル種牝馬ニ付キマシテハ、適當ナ補助獎勵策ヲ講ジテ、軍用適格馬ノ生産資源ヲ確保スル必要ガアルト云フコトデアリマス、第三ノ國內保有馬ノ資質向上、能力ノ向上ニ關スル要望ト致シマシテハ、徵發馬ノ資質ガ不良デアリマスコトハ、民間ノ飼育訓練不十分デアル爲ニ、馬天賦ノ性能ヲ發揮シ得ナカッタ點ガ多アッタノデアリマスカラ、此ノ點カラ致シテ所要ノ軍用候補馬ニ付テハ、繫養費ノ補助ヲサレ、調教訓練ノ施設等ヲ整備シテ、

有能乘輶馬ノ充實ヲ目標トシテ居タノデア
リマスガ、内地馬政計畫ニ於キマシテハ、
戰列部隊所要ノ有能馬、即チ乘馬、輶馬、
戰列駄馬ノ供給ヲ主眼トシテ居ルノデアリ
マシテ、其ノ範圍ガ擴大セラレマシタコト、
及ビ内地保有馬ノ資質向上、即チ生産セラ
レマシタ後ニ於ケル馬ノ保護施設ヲ徹底充
實致シマスルコト、及ビ生産力ノ擴充ヲ圖ル
コトヲ目的トシテ居ルノガ、内地馬政第二次
計畫ニ異ナル主要ナル點デザイマス、尙内
地馬政計畫ハ馬政國策ノ存續スル限り繼續
スペキモノデアリマスカラ、從來ノ馬政計畫ノ
ヤウニ期限ヲ付シテ居ナイノデアリマスガ、
計畫實施ノ方法、施設スペキ事業ノ内容等
ハ時勢ノ變遷ト實施ノ成績等ニ鑑ミマシテ、
必要ニ應ジ變更ヲ要スル場合モ想像セラレ
マスノデ、前計畫ト同様ニ昭和十四年度ヨ
リ昭和二十年度ニ至ル七箇年ノ期間ニ於テ、
差當リ實施ヲ要スル事項ニ付テ實施要領ハ
ヲ定メタノデアリマス、其ノ實施要領ハ
内地馬政計畫ノ後ノ七頁以下ニ詳細ニ記載
シテゴザイマス、内地馬政計畫ノ中ノ主要
點デゴザイマス内地保有馬ノ資質向上ニ關
シテ申上ゲマス、從來ノ馬政ニ於キマシテ
ハ、生産ニ重點ヲ置カレマシテ、生産後ノ
施設ニ付キマシテハ比較的缺クル所ガアリ

マシタ爲ニ、折角有能ナル天賦ノ資質ヲ承
ケテ生産サレマシタ馬モ、遂ニ天賦ノ性能
ヲ完成發揮スルコトガ出來得ナカッタヤウ
ナ憾ガアツタノデアリマス、今次事變發生以
來行ハレマシタ數次ノ徵發ノ結果、竝ニ戰
場ニ於ケル實績ニ徴シマシテ、生産後ニ於
ケル育成鍛鍊等ノ諸施設ヲ強化充實スル必
要ガ極メテ緊要ナルコトヲ切實ニ感ゼシメ
ラレタノデアリマス、尙一面ニ於テ我ガ國
内外ノ情勢ハ日露戰役當時ノ如ク國外ヨリ
多數ノ馬ヲ輸入スルコトヲ困難ト致シ、飽
ク迄モ現存國內資源ニ依リ事變ヲ終始スル
コトガ非常ニ必要ナコトト相成ツテ居ルノ
デアリマス、以上ノ事情デゴザイマスノデ、
内地保有馬ノ資質向上ヲ圖ルコトハ極メテ
必要ナ事デアリマスガ、之ニハ牧野ノ擴大
整備ヲ圖リ、衛生ニ關シテハ徹底セル施設
ヲ講ジ、飼養管理ノ改善上必要ナル諸施設
ヲ充實シ、又鍛鍊ニ關スル施設ノ完備モ圖
ルコトトスル要ガアリマスガ、總テノ馬ニ
付キマシテ、是等施設ノ徹底ヲ圖ルコトハ
困難ナル事情ニアリマスルノデ、國防上特
ル爲、法律ヲ制定シテ軍用保護馬ノ制度ヲ
付キマシテハ、特ニ施設ノ充實ヲ期シマス
ニ必要トスル馬竝ニ之ガ後繼者タル幼駒ニ

ヲ交付シテ、其ノ飼養管理ヲ完全ナラシメ
マスト共ニ、壯馬ニ對シテハ所要ノ鍛錬ヲ
加ヘ、常ニ軍馬タルノ資質ヲ具有セシムル
ニ努メ又幼駒ニ對シテハ育成調教ヲ周到ニ
シ、其ノ發育ヲ全カラシムルコトニシテ居
ルノデアリマス、尙右制度ニ於キマシテ軍
用保護馬ノ鍛錬ニ資シ、併セテ軍用馬ノ資
質ニ關スル正當ナル認識ヲ普及徹底スル
爲、鍛錬競技モ實施スルコトト致シ、之ガ
實施ニ依ツテ地方競馬規則ニ依ル競馬ハ之
ヲ廢止シ、民間多年ノ要望ニアリマシタ地
方競馬改善ノ要望ニ副フコトト致シタノデ
アリマス、是ハ内地馬政計畫ノ第一ノ内地保
有馬ノ資質向上ニ關スルコトト、ソレカラ
七頁ニゴザイマス内地馬政計畫實施要領、
第一内地保有馬ノ資質向上ト云フ點ヲ併セ
テ申上げマシタ次第アリマス、次ニ内地
馬政計畫ノ四頁ニアリマス馬ノ生産及改良ト
云フ點ニ付テ申上げマス、馬ノ生産ニ付キ
マシテハ國策ニ從ヒ増産ヲ圖リマス爲、蕃
殖ニ供用シ得ベキ牝馬並ニ蕃殖技術ヲ最モ
有效ニ活用致シ、内地保有馬ノ維持竝ニ外
ル馬ノ生産ニ努ムル計畫アリマス、產馬
ノ方針ト致シマシテハ馬ノ生産及改良、第
二項ニアリマスヤウニ、陸軍ノ要望ニ副ヒ

ノマス爲、低身、廣軀、四肢強健ニシテ負擔力、輓曳力竝ニ持久力ニ富ミ、中等體尺者馬ヲ標準トシ、輓型馬ノ生産スルヲ以テ第一義トシ、乗型馬ノ生産ハ平時ニ於ケル軍ノ需要ヲ充スヲ目途ト致シマシテ之ヲ制限ス、而シテ纖細菲薄ナル馬殊ニ過悍ナルモノノ生産ハ嚴ニ之ヲ戒ムルコトニナツタノデアリマス、即チ產馬ノ方針ニ關スル今回ノ改正ノ要點ハ低身、廣軀、四肢強健等總テノ點ニ付キマシテ、所謂國防用實役馬ノ生産ヲ期スルコトヲ眼目ト致シテ居ル次第デアリマス、尙此ノ馬ノ生産及改良ニ關スル實施要領ハ七頁第三馬ノ生産及改良ト云フ項目デゴザイマシテ、其ノ後ニ五項目ゴザイマス、簡単ニ是ダケ申上ゲテ參リマスト、一、國有種牡馬ハ昭和二十年度迄ニ七五百頭ニ達セシメ、内二千頭ハ昭和二十年度迄ニ政府ニ於テ繫養ス、政府ニ於テ特ニ認可スル以外ノ民有種牡馬ハ昭和二十年度迄ニ逐次之ヲ整理スルモノトス、其ノ順序ハ、乘型馬生産用ノモノヲ先トシ輓型馬生産用ノモノヲ後トス、二、種牡馬ニシテ資質優良ナルモノニ對シテハ毎年検査ノ結果ニ依リ其ノ飼養者ニ對シ飼養獎勵金ヲ交付ス、三、候補種馬ノ育成鍛錬施設ヲ完備スル

ト共ニ、優良候補種牝馬ノ飼養者ニ對シテ
ハ保留又ハ設置ニ關スル獎勵金ヲ交付ス、
四、競馬法ニ依ル競馬ニ所要ノ改善ヲ加ヘ、
種馬選定上其ノ機能ヲ發揮スルニ遺憾ナカ
ラシム、五、生産率増加竝ニ傳染性流產豫
防ニ關スル施設ヲ完備ス、斯様ニ計畫ヲ定
メマシタ次第デゴザイマス、其ノ他馬ノ需
用竝ニ馬事知識ノ普及、有時ノ際ニ於ケル
軍馬ノ供給竝ニ產業ノ維持、馬ニ關スル試
験研究等ノ事項ガゴザイマスガ、是ハ御説
明ヲ省略致シマス、此ノ馬ノ資質向上ニ關
スル問題ガ軍馬資源保護法案ノ元ニナリマ
ス、又馬ノ生産改良ニ關スル部面ガ、種馬
統制法ヲ制定シマスル元ニナリマシタ次第
デアリマス、甚ダ簡単デゴザイマスガ概要
ダケ申上ゲマス

ルカト思ヒマスガ、之ニ向ツテ今日迄進ンダ所ノ状況ノ概略ヲ伺フコトガ出来マセウカ、ドンニ状況ニ今ナツテ居ルカ

○委員長（伯爵壽口亮君） 御詰致シマス
ガ、本法三案ニ關スル質問ハ技術的ニ關ス
ルモノガ多分ニ入ッテ居リマスガ、ソレハ適
時委員長ニ於テ説明員ノ説明スルコトノ御
許シヲ得マシテ宜シウゴザイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○委員長（佐藤謙吉）　テハ左様是三
リ計リマス

○説明員(依田伴久君) 私カラ便宜只今
ノ御質問ニ對シマシテ説明致シタイト存ジ

マヌ、黒政第一次計畫が實施ニナリ、マシタノハ明治三十九年、之ガ完了ヲ告ゲマシタ

タノハ昭和十年度ニサバマヌ、其ノ間海外ヨリ優良ナル種畜ヲ入レマシテ改良ニ

第一期十八年間ニ於キマシテハ、相當多數
努メマシテ、殊ニ馬政第一次計畫三十年ノ

ノ外國種蓄ヲ入レマシタ、其ノ結果ト致シ
マシ、洋血ノ注入ハ、當時第一期十八年間

ル計畫ガ非常ニ進捗致シマシテ、十八年間ニ全
國百五十萬ノ三分ノ一ニ注入セントス

ニ其ノ三分ノ二洋血ヲ注入シテ棘種ヲ造リ
上ゲタノデアリマス、其ノ後大正十二年ニ

第一期計畫ト云フモノガ出來マシテ、當時

陸軍省ヨリ畜産局ト致シマシテ農商務省ノ

方ニ移管ニナシテ、黒政ヲスルニトニ相成

期十八年計畫ヲ繼承シテ參リマシテ、十
二箇三十二年ノニ至依然文是ニ努メ

マシタ結果、血液ノ方ニ於キマシテハ

殆ド全體ノ著ニ洋血ヲ注入致シマシテ、今
日デハ本土在來種ト認メラレマスモノハ僅

カ一三萬ト云フ程度デアリマシテ、殆ド洋

良ノ過程ニ於キマシテ、殊ニ馬政第一次計

常ニ矮小デアツタ所ノ我ガ國ノ產馬ヲ急激

ト云フ方針ヲ執リマシタ結果、非常ニ馬ガ

ソコデ後期十二箇年計畫ニ於キマシテハ、是

ウニ造リ上アゲナケレバイカナイ、當初ニ於

云フ關係カラ、用途ノ廣イ輓型馬ニ重點ヲ

テ其ノ改良ノ元ニナリマスル種畜ニ付キマ

標準ニ付キマシテ、目標ヲ示シマシテ、其

ノ目標ニ向ッテ種牡馬ヲ整備シ、種牝馬ヲ整

「グロノルマン」、重種ハ「ペルシュロン」ト
云フ風ニ種類等モ限定致シマシテ、種類固
定ノ促進ニ努メルコトニ致シテ居ル次第デ
アリマス、其ノ根本トナルモノハ如何ニシ
テモ種馬、種牡馬ニ重點ヲ置カナケレバナ
リマセヌノデ、將來ハ是等ノモノニ付キマ
シテ登録ヲモ行シテ、サウシテ軍ノ要望セラ
レル馬ヲ一日モ早ク造リ上ゲ、又全般ノ馬
ノ體型整備、種類ノ固定ヲモ圖ラント云フ

「大島便一君 今日ハ軍用馬ハ
利共丸自
分ノ住居ノ關係カラ出入リナゾニ見マスル
主ニ士官學校、幼年學校等ニアル馬ノヤウ
デ、ソレ等ノ生徒ガ乗ッテ出入スルノヲ見
受ケルノデアリマス、多年ノ御骨折デ立派
ナ乘馬ガ出來タト云フコトハ、私ハ感謝シ
テ居ルノデアリマスガ、ソレ等ヲ見マスト
マダドウモ外國馬ノ形ガ多クテ、日本ノガ
アレニテナツタノデアルカドウカト云フヤウ
ナ疑フ持ツノデアリマスガ、兎ニ角馬ニハモ
ウ國籍ガ無イカラ何處デモ宜イノデ、一番
適當デ、一番其ノ種族ノ永續性スルモノヲ以
テ茲ニ所謂種類ノ固定ガ出來レバ誠ニ結構
ト思ツテ居リマス、是モ古イ話デアリマスガ、
「ウンガルン」ノ牧場ニ於テ向ウノ牧場長ア
タリカラ聞イタ話ニ、日本ニ種馬ヲ御持チ

ニナルガ、主ニ種牡馬ノミヂ、種牡馬ヲ御持チニナラナイ、アレデハ改良ノ進歩ガ遲クハアリマセヌカト云フコトヲ言ハレタコトガアルノデアリマス、當時私ハ馬政ニ關係シテ居ルノデモナイカラ聞キ流シテ置キマタガ、マア理窟ハ其ノ通リデ、其ノ時考ヘタノハ、馬ニハ何モ國籍ガ無イカラ何處ノ馬デモノヲ持テ來テ早クヤレバ一番ソレガ宜イナト思ッタ、併シ是ハ金ガ掛ルカラ斯ウ云フコトヲ日本デヤシテ居ルト思ッタノデアリマス、固定ト云フコトガアリマシタガ、矢張リ今ノ經濟關係カラデアッタノデアリマス、兎ニ角成ルベク早ク特有ノ種類ノ固定ト云フコドガ非常ニ必要デアラウト思ヒマスガ、是ガ相當ノ年月ニ行クノデゴザイマセウカ、御見込ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ今日我ガ種馬ハ、是ハ十一年ノ統計ニ依シテヨット見マシタノデスガ、種牡馬ハ居リマス、是ハマア除外スベキモノデゴザイマセウカ、ソレデ種牡馬ノ主ナルモノガ、雜種ノ種牡馬ガ二千百二十八頭、ソレカラ外國種ノ種牡馬ガ三千六十頭ト云フコトニナッテ、猶外國種ノ方ガ多イヤウデアリマス、馬ノ雜種ハ長イ年月ヲ要スルモノデアッ

トガアルノデアリマス、當時私ハ馬政ニ關係シテ居ルノデモナイカラ聞キ流シテ置キマタガ、マア理窟ハ其ノ通リデ、其ノ時考ヘタノハ、馬ニハ何モ國籍ガ無イカラ何處ノ馬デモノヲ持ツ馬ニナレルカラ、結構ナ日本ノ大和魂ヲ持ツ馬ニナレルカラ、結構ナモノヲ持テ來テ早クヤレバ一番ソレガ宜イナト思ッタ、併シ是ハ金ガ掛ルカラ斯ウ云フコトヲ日本デヤシテ居ルト思ッタノデアリマス、固定ト云フコトガアリマシタガ、矢張リ今ノ經濟關係カラデアッタノデアリマス、兎ニ角成ルベク早ク特有ノ種類ノ固定ト云フコトガ非非常ニ必要デアラウト思ヒマスガ、是ガ相當ノ年月ニ行クノデゴザイマセウカ、御見込ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ今日我ガ種馬ハ、是ハ十一年ノ統計ニ依シテヨット見マシタノデスガ、種牡馬ハ居リマス、是ハマア除外スベキモノデゴザイマセウカ、ソレデ種牡馬ノ主ナルモノガ、雜種ノ種牡馬ガ二千百二十八頭、ソレカラ外國種ノ種牡馬ガ三千六十頭ト云フコトニナッテ、猶外國種ノ方ガ多イヤウデアリマス、馬ノ雜種ハ長イ年月ヲ要スルモノデアッ

ト云フコト、固定ノ種類ニ行ク迄ニハマダ餘程前途ガアルヤウニ思フノデゴザイマスガ、是等ニ對スルチヨット御見込ヲ伺フコトガ出來マセウカ

○説明員(佐々田伴久君) 便宜私カラ御話
申上げヨウト思ヒマス、只今統計面デ非常ニ洋種ガ多イ、是等ハ外國ノ馬デハナイカラ云フヤウニ仰セニナリマシタノデアリマスガ、從來ノ種類稱呼デ申シマスト云フト、コチラヘ參リマシタ洋種ト洋種トノ子供ハ是ハ洋種ト稱スル關係カラ、洋種ノ名稱ノ方ガ多イノデゴザイマスガ、眞ニ外國カラ輸入シタモノハ極メテ少數デアルノデアリマス、現ニ毎年入レテ參リマスモノモ二十頭前後ノモノデアリマシテ、日本ノ氣候風土ニ馴化致シマシタ洋種デアリマシテ、寧ろ只今ノ改良ノ方針カラ申シマスレバ、外國カラ買ツテ參リマス其ノモノヨリモ餘程目的ニ副フ馬ガ殖エテ參ッタ譯デアリマス

ト云フコトヲ、固定ノ種類ニ行ク迄ニハマダ餘程前途ガアルヤウニ思フノデゴザイマスガ、是等ニ對スルチヨット御見込ヲ伺フコトガ出來マセウカ、ソレデ種牡馬ノ主ナルモノガ、雜種ノ種牡馬ガ二千百二十八頭、ソレカラ外國種ノ種牡馬ガ三千六十頭ト云フコトニナッテ、猶外國種ノ方ガ多イヤウデアリマス、馬ノ雜種ハ長イ年月ヲ要スルモノデアッ

ト云フコト、固定ノ種類ニ行ク迄ニハマダ餘程前途ガアルヤウニ思フノデゴザイマスガ、是等ニ對スルチヨット御見込ヲ伺フコトガ出來マセウカ

○説明員(佐々田伴久君) 便宜私カラ御話
申上げヨウト思ヒマス、只今統計面デ非常ニ洋種ガ多イ、是等ハ外國ノ馬デハナイカラ云フヤウニ仰セニナリマシタノデアリマスガ、從來ノ種類稱呼デ申シマスト云フト、コチラヘ參リマシタ洋種ト洋種トノ子供ハ是ハ洋種ト稱スル關係カラ、洋種ノ名稱ノ方ガ多イノデゴザイマスガ、眞ニ外國カラ輸入シタモノハ極メテ少數デアルノデアリマス、現ニ毎年入レテ參リマスモノモ二十頭前後ノモノデアリマシテ、日本ノ氣候風土ニ馴化致シマシタ洋種デアリマシテ、寧ろ只今ノ改良ノ方針カラ申シマスレバ、外國カラ買ツテ參リマス其ノモノヨリモ餘程目的ニ副フ馬ガ殖エテ參ッタ譯デアリマス

ト云フコトヲ、固定ノ種類ニ行ク迄ニハマダ餘程前途ガアルヤウニ思フノデゴザイマスガ、是等ニ對スルチヨット御見込ヲ伺フコトガ出來マセウカ、ソレデ種牡馬ノ主ナルモノガ、雜種ノ種牡馬ガ二千百二十八頭、ソレカラ外國種ノ種牡馬ガ三千六十頭ト云フコトニナッテ、猶外國種ノ方ガ多イヤウデアリマス、馬ノ雜種ハ長イ年月ヲ要スルモノデアッ

ト云フコト、固定ノ種類ニ行ク迄ニハマダ餘程前途ガアルヤウニ思フノデゴザイマスガ、是等ニ對スルチヨット御見込ヲ伺フコトガ出來マセウカ

○説明員(佐々田伴久君) 便宜私カラ御話
申上げヨウト思ヒマス、只今統計面デ非常ニ洋種ガ多イ、是等ハ外國ノ馬デハナイカラ云フヤウニ仰セニナリマシタノデアリマスガ、從來ノ種類稱呼デ申シマスト云フト、コチラヘ參リマシタ洋種ト洋種トノ子供ハ是ハ洋種ト稱スル關係カラ、洋種ノ名稱ノ方ガ多イノデゴザイマスガ、眞ニ外國カラ輸入シタモノハ極メテ少數デアルノデアリマス、現ニ毎年入レテ參リマスモノモ二十頭前後ノモノデアリマシテ、日本ノ氣候風土ニ馴化致シマシタ洋種デアリマシテ、寧ろ只今ノ改良ノ方針カラ申シマスレバ、外國カラ買ツテ參リマス其ノモノヨリモ餘程目的ニ副フ馬ガ殖エテ參ッタ譯デアリマス

ト云フコトヲ、固定ノ種類ニ行ク迄ニハマダ餘程前途ガアルヤウニ思フノデゴザイマスガ、是等ニ對スルチヨット御見込ヲ伺フコトガ出來マセウカ

○説明員(佐々田伴久君) 便宜私カラ御話
申上げヨウト思ヒマス、只今統計面デ非常ニ洋種ガ多イ、是等ハ外國ノ馬デハナイカラ云フヤウニ仰セニナリマシタノデアリマスガ、從來ノ種類稱呼デ申シマスト云フト、コチラヘ參リマシタ洋種ト洋種トノ子供ハ是ハ洋種ト稱スル關係カラ、洋種ノ名稱ノ方ガ多イノデゴザイマスガ、眞ニ外國カラ輸入シタモノハ極メテ少數デアルノデアリマス、現ニ毎年入レテ參リマスモノモ二十頭前後ノモノデアリマシテ、日本ノ氣候風土ニ馴化致シマシタ洋種デアリマシテ、寧ろ只今ノ改良ノ方針カラ申シマスレバ、外國カラ買ツテ參リマス其ノモノヨリモ餘程目的ニ副フ馬ガ殖エテ參ッタ譯デアリマス

ト云フコトヲ、固定ノ種類ニ行ク迄ニハマダ餘程前途ガアルヤウニ思フノデゴザイマスガ、是等ニ對スルチヨット御見込ヲ伺フコトガ出來マセウカ

○子爵會我祐邦君 私ハ只今ノ御説明ニ關聯シタコトヲ伺ヒマスノデアリマスガ、其ノ前ニ全般論トシテモウ一ツ伺ヒタイコト意見ノアルガ如ク、物ガ進メテ行カレルトベルシヨロン」トカ、各種ノモノガ出テ居リマスガ、ソレハ今日日本ニ出來タモノデレタコトニ矢張リ關係シテ居ルノデアリマガゴザイマス、ソレハ大島委員ノ今仰セラシテ、日本ノ軍馬ノ……ト申シマセウカ、日本ノ馬種改良ノ道程ト申シマスモノハ、改良シテ行クト云フコトニ馬政改良方針ニハ書イテアルモノト了解シテ宜シイノデスカ

タコトニ氣付カヌデアリマシタガ、サウスルト是等ノ種類ノ中デ、今此ノ馬政ノ改良要シマセウ、ソレデ尙今日デモ種牡馬ハ外國馬ガ多イト云フヤウナ……統計デ見マス

○大島健一君 御説明デ能ク分リマシタ、丁度只今又牝牡共ニ向ウカラ入ッタモノモ、馬ガ外國種ト云フコトニ此ノ表ニ舉ッテ居テ喚ビマシテ……

○政府委員(荷見安君) 只今ノハ拓務省及朝鮮總督府ノ關係ニナリマスノデ、ソチラノ人カラ答辯致シマス

○委員長(伯爵謹口直亮君) ソレデハ追

本が今日迄ノ経験ニ依ッテ馬ノ血統ノ上カラ軍ノ要望スル所ノモノニ合格スルニ近イモノハ、ドノ種類ガ一番良イト云フコトヲ御認メナリマシタカト云フコトヲ、一ツ承リタイノデゴザイマス

○政府委員(荷見安君) 是ハ陸軍ノ方デ慎重ニ御研究ニナリマシタ結果、軍馬ニ適當ナル種類ト致シマシテハ、乗型馬ハ「アングロノルマン」、同系種及中半血種、輓型馬ハ「アングロノルマン」、同系種及中半血種、重半血種、斯様ニ決定サレタ譯デゴザイマス

○子爵曾我祐邦君 處デ日本ノ軍ノ要求ト云フモノハ、斯ウ云フ風ニ是ニモ書イテゴザイマスケレドモ、之ヲ列國ノ軍ノ乘馬ニ較ベマスト、大分違ッテ居ル點ガアルト思フ、御存ジノ通リ「フランス」ニシテモ「ドイツ」ニシテモ重騎兵ト云フモノガアリ、輕騎兵ト云フモノガアッテ、各々其ノ軍ノ要求スル所ノ使命ハ異ッテ居リマス、是ハ軍人ノ御方ガオイデニナルカラ申上ゲル必要ガアリマセヌガ、各々違ッテ居ル、ソレカラ輓馬デゴザイマス、輓馬ノ性能ト輕騎兵ノ要求スル性能ハ全ク違ッタモノデナケレバナラヌコトハ申ス迄モアリマセヌガ、今日ノ日本ガスクノ如ク大陸ニ進出シマス以上ハ、自カラ抵

抗力ノ強イ、大キナ重量ヲ背負ッテ、或ハ襲撃ノ用ニ供シ、或ハ其ノ任務ヲ果スニハラ輕騎兵ノ如キ敵ノ背後ヲ脅シ、其ノ後方

ヲ襲フト云フヤウナ神出鬼沒ノ運動ヲスル所ノ輕イ騎兵ガ又要求サレルデアラウト思

マ、輓馬モ申ス迄モナク是モ「フランス」ノ馬デ云ヒマスレバ、「ノルマン」種トデモ申シマセウカ、サウ云フ種類ノ違タモノガ自カラ歐羅巴ノ軍國ニ於テハ存在シテ居ルノデアリマス、今日日本ノ何ヲ拜見シタ所デハ單ニ乘用ニ要求スル所ノ型、即チ騎兵ノ馬デアリマセウ、ソレト一ツハ輓馬デゴザイマガ、日本ハ今ノヤウニ「ドイツ」或ハ「フランス」ガ持ッテ居リマスヤウナ重騎兵トカ、輕騎兵トカ云フヤウナ軍ノ中デ、殆ド絶對トハ云ヘマセヌガ、非常ニ違ツタ性能ヲ持ツテ居ル馬ノ二種類ヲ造ルベク軍ノ方デ御盡シニナツテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ一ツ御参考ニ承リタイノデアリマス

○説明員(栗林忠道君) 便宜私カラ御答ヘ申上ゲマス、騎兵ノ性能ニ於キマシテハ、只今御詫ノアリマシタ神出鬼沒ノ輕イ騎兵トカ、或ハ重騎兵的ノ騎兵トカ云フヤウニ、二色ニ分ケテハ居ラナイノデアリマス、騎兵其ノモノノ性能ハ全ク同一デアリマシテ、昔極ク輕快ナル運動ヲ要求シテ居ッタヤハ、連續不斷、晝夜ヲ分タズ、數十百里ニ瓦リマシテ行動スルコトガ騎兵ノ運動性ニナツテ居リマス、從ツテ騎兵ハ、從來ノヤウニ極ク瞬間的ナ速力ヲ主トシタ所ノ騎兵ニアラズシテ、連日持久シ得ル所ノ騎兵デナケレバナラヌノデアリマシテ、現在一種類ニ固定致シマシタノモ其處ニアルノデアリマシテ、將來ノ騎兵ハ其ノ方針ノ下ニ使ハレル馬ヲ望ンデ居ル次第デアリマス

○子爵曾我祐邦君 何ト申シマシテモ時代ノ兵器ハ科學的進歩ヲ致シマシテ、或淺薄ノ論者ハ、科學的兵器ノ出現シタ以上ハ、騎兵ノ效力等ト云フモノハ減リハセヌカト云フコトヲ言フノデアリマスガ、私共ハ、決シテサウ信ジナイ、ソコニ科學的兵器ガ發達シ、騎兵軍ニ採用サレ、飛行機ガ應用サレルモノハドウシテモ馬ノ足ト、人間ノ足ヨリナガ、併シナガラ何ダカ無期限ニヤルト云フコトハダラシナイコトニナツテ、ハツキリシタ結果ガ分ラナイ、之ヲ國家ノ經濟カラ云

云フモノ根本ハ非常ニ重大ナモノデアルト云フ意味デ、私共昨日カラ色々御質問申上ゲテ居ルノデアリマス、處デ先程ノ御説明ノ如ク中ニ加ヘラレテ、如何ニモ意味アルヤ

兵其ノモノノ性能ハ全ク同一デアリマシテ、昔極ク輕快ナル運動ヲ要求シテ居ッタヤハシナイ、無期限ノ計畫デアルト云フコトヲ仰セニナリマシタガ、是ハ無論デアリマス、併シナガラ五年計畫トカ三年計畫トカ

ノ一部ニハ、滿洲トカ何トカデハ之ヲヤツテハ、連續不斷、晝夜ヲ分タズ、數十百里ニ瓦リマシテ行動スルコトガ騎兵ノ運動性ニナツテ居リマス、從ツテ騎兵ハ、從來ノヤウニ極ク瞬間的ナ速力ヲ主トシタ所ノ騎兵ニアラズシテ、連日持久シ得ル所ノ騎兵デナケレバナラヌノデアリマシテ、現在一種類ニ固定致シマシタノモ其處ニアルノデアリマシテ、將來ノ騎兵ハ其ノ方針ノ下ニ使ハレル馬ヲ望ンデ居ル次第デアリマス

○子爵曾我祐邦君 何ト申シマシテモ時代ノ兵器ハ科學的進歩ヲ致シマシテ、或淺薄ノ論者ハ、科學的兵器ノ出現シタ以上ハ、騎兵ノ效力等ト云フモノハ減リハセヌカト云フコトヲ言フノデアリマスガ、私共ハ、決シテサウ信ジナイ、ソコニ科學的兵器ガ發達シ、騎兵軍ニ採用サレ、飛行機ガ應用サレルモノハドウシテモ馬ノ足ト、人間ノ足ヨリナガ、併シナガラ何ダカ無期限ニヤルト云フコトハダラシナイコトニナツテ、ハツキリシタ結果ガ分ラナイ、之ヲ國家ノ經濟カラ云

云フモノ根本ハ非常ニ重大ナモノデアルト云フ意味デ、私共昨日カラ色々御質問申上ゲルト云フノト同ジヤウナ意味デ事業ノ上ニ於テモ、或縮括リガ必要デアラウト私ハ思ヒマス、此ノ計畫ノナイト云フコトヲ御説明ノ中ニ加ヘラレテ、如何ニモ意味アルヤ

ウニ仰セラレタ、トハ敢テ申シマセヌケレドモ、サウ聞エマシタ、是ハ私ハ誠ニ心外ニ思フ、私ハ寧ロ五年計畫ノ第一ハ是デアル、第二ガ是デアル、サウシテ其ノ目標トスル所ハ何萬頭デアル、平均身長ヲドレガケ伸ス、平均體重ヲ何處迄持テ行クノダト云フコトニ於テ意義ガアリ、仕事ノ締括リガ付クト思フ、ソレヲ五年計畫ハナイ、三年計畫ハナイ、無期限ニ延シテ行クト云フコトハ、詰リダラシノナイコトニ陥リハシナイカ、我々ハ其ノ局ニ當ツテ居ラレル人ノ責任觀念ヲ決シテ疑フ意味カラ申スノデハアリマセヌガ、併シナガラサウト云フコトガアリ得ル、ダカラ各國ニ於テモ五年計畫ハ立ツテ居ル、百姓一戸當リ一町歩アルトカ何トカ云フコトヲサレル所以ノモノハサウ云フ所ニアルト私ハ思フノデアリマス、更ニ内地馬政計畫實施要領ノ第七頁デアリマス、牧野ノ擴大整備ヲ期スルトカ云フコトヲ言フテ居ルノデアリマスガ、其ノ計畫要領ハドウデアルカ、是ハ言ヒ換ヘマスレバ、將來希望シテ居ラレル所ノ馬一頭ヲ放飼ヒニスルニハ、其ノ面積ハ幾坪ヲ要シマスカ、ソコニ於テ其ノ面積如何ニ依ツテハ非常ニ大キナ牧野ガ要ルコトハ申

ス迄モナイ、其ノ放飼ヒシテ置ク所ノ面積、又彼等ニ與フル所ノ糧食ニ使用スペキ麥其ノ他ヲ耕作スペキ面積、サウ云フモノヲ計算シテ見マスト、日本ノ限リアル極ク狭イ領土デアルニ拘ラズ、茲ニ非常ニ大キナ面積ヲ要求スル必要ガ出テ來ルコトハ申ス迄モナイコト思フ、處デ一方日本ノ山林經濟ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ考ヘマスルト、又耕作面積ハドウデアルカト云フト、日本ノ耕作面積ハ現實ニ非常ニ足ラナイモノニナツテ居ル、百姓一戸當リ一町歩アルト云フヤウナ面積デ、其處ニ耕作ノ地籍ヲ擴ゲルコトヲ非常ニ大キナ目的トシテ今内地デハ立ツテ居ル、又森林政策ニ付キマシテハ所謂紙ノ原料、或ハ人造絹絲ノ原料、其ノ他ノ纖維植物ノ要リマスノハ申ス迄モナイ、其處ニ於キマシテ、森林政策ト云フモノノ根本ガ、以前立てマシタ所ノ森林政策ノ根本ガアリ得ル、ダカラ各國ニ於テモ五年計畫ハ立ツテ居ル、百姓一戸當リ一町歩アルトカ何トカ云フコトヲサレル所以ノモノハサウ云フ所ニアルト私ハ思フノデアリマス、更ニ内地馬政計畫實施要領ノ第七頁デアリマス、牧野ノ擴大整備ヲ期スルトカ云フコトヲ言フテ居ルノデアリマスガ、其ノ計畫要領ハドウデアルカ、是ハ言ヒ換ヘマスレバ、將來希望シテ居ラレル所ノ馬一頭ヲ放飼ヒニスルニハ、其ノ面積ハ幾坪ヲ要シマスカ、ソコニ於テ其ノ面積如何ニ依ツテハ非常ニ大キナ牧野ガ要ルコトハ申

ドウ云フ數字ガ現レルデアラウカ、ソレニ付テ何カ我々ガ常識的ニ知識ヲ得ラレルモノヲ御持チニナツテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイノデアリマス、序ニモウ一ツ、此處ニアリマス所ノ飼料ノ配給ノ圓滑ヲ圖ルトカ獎勵スルト云フ御計畫デスガ、是ハ只モナイコト思フ、處デ一方日本ノ山林經濟ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ考ヘマスルト、又耕作面積ハドウデアルカト云フト、日本ノ耕作面積ハ現實ニ非常ニ足ラナイモノニナツテ居ル、百姓一戸當リ一町歩アルト云フヤウナ面積デ、其處ニ耕作ノ地籍ヲ擴ゲルコトヲ非常ニ大キナ目的トシテ今内地デハ立ツテ居ル、又森林政策ニ付キマシテハ所謂紙ノ原料、或ハ人造絹絲ノ原料、其ノ他ノ纖維植物ノ要リマスノハ申ス迄モナイ、其處ニ於キマシテ、森林政策ト云フモノノ根本ガ、以前立てマシタ所ノ森林政策ノ根本ガアリ得ル、ダカラ各國ニ於テモ五年計畫ハ立ツテ居ル、百姓一戸當リ一町歩アルトカ何トカ云フコトヲサレル所以ノモノハサウ云フ所ニアルト私ハ思フノデアリマス、更ニ内地馬政計畫實施要領ノ第七頁デアリマス、牧野ノ擴大整備ヲ期スルトカ云フコトヲ言フテ居ルノデアリマスガ、其ノ計畫要領ハドウデアルカ、是ハ言ヒ換ヘマスレバ、將來希望シテ居ラレル所ノ馬一頭ヲ放飼ヒニスルニハ、其ノ面積ハ幾坪ヲ要シマスカ、ソコニ於テ其ノ面積如何ニ依ツテハ非常ニ大キナ牧野ガ要ルコトハ申

ス迄モナイ、其ノ放飼ヒシテ置ク所ノ面積、又彼等ニ與フル所ノ糧食ニ使用スペキ麥其ノ他ヲ耕作スペキ面積、サウ云フモノヲ計算シテ見マスト、日本ノ限リアル極ク狭イ領土デアルニ拘ラズ、茲ニ非常ニ大キナ面積ヲ要求スル必要ガ出テ來ルコトハ申ス迄モナイコト思フ、處デ一方日本ノ山林經濟ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ考ヘマスルト、又耕作面積ハドウデアルカト云フト、日本ノ耕作面積ハ現實ニ非常ニ足ラナイモノニナツテ居ル、百姓一戸當リ一町歩アルト云フヤウナ面積デ、其處ニ耕作ノ地籍ヲ擴ゲルコトヲ非常ニ大キナ目的トシテ今内地デハ立ツテ居ル、又森林政策ニ付キマシテハ所謂紙ノ原料、或ハ人造絹絲ノ原料、其ノ他ノ纖維植物ノ要リマスノハ申ス迄モナイ、其處ニ於キマシテ、森林政策ト云フモノノ根本ガ、以前立てマシタ所ノ森林政策ノ根本ガアリ得ル、ダカラ各國ニ於テモ五年計畫ハ立ツテ居ル、百姓一戸當リ一町歩アルトカ何トカ云フコトヲサレル所以ノモノハサウ云フ所ニアルト私ハ思フノデアリマス、更ニ内地馬政計畫實施要領ノ第七頁デアリマス、牧野ノ擴大整備ヲ期スルトカ云フコトヲ言フテ居ルノデアリマスガ、其ノ計畫要領ハドウデアルカ、是ハ言ヒ換ヘマスレバ、將來希望シテ居ラレル所ノ馬一頭ヲ放飼ヒニスルニハ、其ノ面積ハ幾坪ヲ要シマスカ、ソコニ於テ其ノ面積如何ニ依ツテハ非常ニ大キナ牧野ガ要ルコトハ申

ドウ云フ數字ガ現レルデアラウカ、ソレニ付テ何カ我々ガ常識的ニ知識ヲ得ラレルモノヲ御持チニナツテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ承リタイノデアリマス、序ニモウ一ツ、此處ニアリマス所ノ飼料ノ配給ノ圓滑ヲ圖ルトカ獎勵スルト云フ御計畫デスガ、是ハ只モナイコト思フ、處デ一方日本ノ山林經濟ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ考ヘマスルト、又耕作面積ハドウデアルカト云フト、日本ノ耕作面積ハ現實ニ非常ニ足ラナイモノニナツテ居ル、百姓一戸當リ一町歩アルト云フヤウナ面積デ、其處ニ耕作ノ地籍ヲ擴ゲルコトヲ非常ニ大キナ目的トシテ今内地デハ立ツテ居ル、又森林政策ニ付キマシテハ所謂紙ノ原料、或ハ人造絹絲ノ原料、其ノ他ノ纖維植物ノ要リマスノハ申ス迄モナイ、其處ニ於キマシテ、森林政策ト云フモノノ根本ガ、以前立てマシタ所ノ森林政策ノ根本ガアリ得ル、ダカラ各國ニ於テモ五年計畫ハ立ツテ居ル、百姓一戸當リ一町歩アルトカ何トカ云フコトヲサレル所以ノモノハサウ云フ所ニアルト私ハ思フノデアリマス、更ニ内地馬政計畫實施要領ノ第七頁デアリマス、牧野ノ擴大整備ヲ期スルトカ云フコトヲ言フテ居ルノデアリマスガ、其ノ計畫要領ハドウデアルカ、是ハ言ヒ換ヘマスレバ、將來希望シテ居ラレル所ノ馬一頭ヲ放飼ヒニスルニハ、其ノ面積ハ幾坪ヲ要シマスカ、ソコニ於テ其ノ面積如何ニ依ツテハ非常ニ大キナ牧野ガ要ルコトハ申

ガ、斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、私
ハ過去ニ於テノ御説明ガドノ點ガドウデアツ
タト云フコトヲ申上ゲタクハナイ、過去ニ
於テ御説明ニナツタ陸軍ノ要求スル馬、國家
ガ希望スル馬ハ是デ出來ルト云フ基礎ノ上
ニ我々ハ色々ノ法案ニ參加シタノデアリマ
スガ、今日御説明ニ依リ、之ニ書イタモノ
ヲ見レバ出來ルト思ヒマスガ、過去ノ御説
明ハサウスルト根本カライケナイノダト云
フコトニナルト、ドウモ又五年先ニナルト
ソレト同ジ言葉ガ現レテ來テ、今日我々ガ
此處デ審議シテ居リマス質問應答ノ馬ト云
フモノハ、矢張リ計畫ガ間違ツテ居ッタト云
フコトヲ言ハナケレバナラヌコトニナリハ
セヌカト云フコトヲ心配スルノデスガ、其
ノ邊モ序ニ御説明ヲ願ヒタウゴザイマス
○政府委員(荷見安君) 只今私ガ内地馬政
計畫ニ付テ申上ゲマシタ中デ、内地馬政計
畫ニ期限ヲ付シナイコトヲ申上ゲマシタノ
デスガ、ソレハ内地馬政計畫ト致シマシテ
ハ、期限ヲ付セナインデゴザイマスガ、只
今御話ノヤウニ實行ニ付キマシテハ一定ノ
年度ガ定マリマシテ、其ノ間ニドウ云フ風
ニスルカト云フコトガ確定致シマスノガ極
メテ適切デゴザイマスノデ、内地馬政計畫
實施要領ノ方ニ於キマシテハ年度ヲ付シテ

居ルノデアリマス、即チ昭和十四年度ヨリ
昭和二十年度ニ至ル七箇年ノ間ニ於キマン
テ実施スルコトハ別ニ定メマシタ譯デアリ
マス、ソレガ馬政計畫ト實施要領ヲ區別致
シマシタ主ナ點デゴザイマス、ソレカラ牧
野ノ馬ノ飼育上ニ必要ナルコトハ只今御話
ノ通リデゴザイマシタ、又飼料ヲ豊富ナラ
シメマス爲ニハ採草地等モ十分改善シテ
參ラナケレバイケナイト思フノデアリマ
ス、是ハ御話ノ通りデゴザイマスノデ、
本年度ニ於キマシテハ前年度ノ八十萬圓
バカリノ獎勵費ヲ約八割程度増加致シマ
シテ、百三十八萬圓ノ豫算ヲ計上致シマ
シタ、之ニ依ッテ出來ル限り放牧地ノ改
善、採草地ノ改善ト云フ風ナ方ニ進ミタ
イト思ッテ居リマス、尙又飼料ノコトニ付
キマシテモ十分研究致シタイト思ヒマスガ、
飼料ノ方ニ付テハマダ申上ゲル程ノコトハ
ゴザイマセヌ、要スルニ森林政策ト產馬政
策トノ調整ヲ圖リマシテ、馬ノ増殖並改良
ニ必要デアリマスル牧野ノ整備ヲ如何ニス
ルカト云フコトハ重要ナ問題デアリマス、
殊ニ今回ノヤウナ計畫ヲ立テ、確實ニ其
ノ目的ヲ達シヨウトスルニハ現在ニ於テモ、
只今申上ゲマシタ程度ノ施設ハ致シテ居リ
マスガ、尙其ノ他ニ於テモ研究ヲ遂ゲタイ

ト思ヒマシテ、昨年末以來、省内ニ收穫整備ノ審議會ヲ設ケマシテ關係ノ幹事、其ノ他經驗者等ヲ以テ組織致シマシテ研究ニ取掛シテ居ル譯デアリマス、是ハ出來ル限り早く、出來マスレバ今年ノ秋位迄ニハ何等カ結論ヲ得マシテ適當ニ調整方針ナリ、或ハ牧野ノ改善方法ナリヲ立案致シテ參リタイト思シテ居ル譯デゴザイマス、此ノ馬ノ種牡馬ノ整理ノ問題デゴザイマスガ、是ハ「乗型馬生産用ノモノヲ先トシ」ト致シマシタノハ、主トシテ此ノ乗型馬生産用ノモノヲ先ニ致ス意味合ト存ジテ居リマス、ソレカラト云フノデアリマスガ、是ハ從來ノ計畫ハ誤ガアッタ次第デハゴザイマセヌノデ、從來ノナル點ガアッタト云フ話デアルカドウカトニ致ス、計畫ガ極メテ效果ヲ擧ゲテ居ルノデアリマスケレドモ、主トシテ生産後ノ馬ノ保護ニ關シマシテ、詰リ馬ノ天賦ノ能力ノ發揮ヲ保護ヲ致ス施設ニ於テ計畫ガ十分デナカッタト考ヘテ居リマス

秋頃迄ニハ相當研究シ得ルダラウト云フヤ
ウナ御話デゴザイマシタ、私ハ斯ウ云フコ
トヲ心配スルノデスガ、内地ニ於テハ馬ノ
飼養ニ要スル面積ト、森林政策ノ上カラ茲
ニ一ツノ極限ガ出來ヤシヤシナイカ、サウ
シテ耕地トカ、森林ノ關係カラ、是ダケシ
カ馬ニヤレヤシナイ、併シ馬ニハ一頭是ダ
ケノ面積ガ要ル、ソレヲ以テ行クト、日本
ニハ何百萬頭御置キニナルカモ知レナイケ
レドモ、要スルニ其處ニ自カラ「リミット」ガ
出テ來ル、其ノ極限ト云フモノガ果シテ國
策ノ上カラ要求セラレル數字デアルヤ否ヤ
ト云フコトニ付テ、一ツノ疑フ持チ得ルノ
デハナカラウカ、我々糧食問題モ社會政策
ノ上カラ國家ノ重大問題デアリマスケレド
モ、此ノ調和ト云フモノガ非常ニムツカシ
イモノガ、正面衝突スルノデハナイカト云
フコトヲ非常ニ心配シテ居ルモノデアリマ
スガ、此ノ點ニ付テハ、私ト同ジ心配ヲ御
持チニナッテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ承リ
タイト云フコトガ一ツ、ソレカラ第七頁ノ
軍用保護馬ノ飼養者ニ對シテ飼養補助金ノ
交付ト云フコトガアリマスガ、是ハ一體此
ノ金額ナント云フモノハ御發表ニナルコト
ガ、差支アルヤナキヤ存ジマセヌガ、一體ト
ノ位ニナル積リデアリマセウカ、ソレカラ

馬一頭ガ所謂國有ト云ッテハヲカシイデス
ガ、國家ガ之ヲ國有トシテ行ク所ノ馬ノ飼
料ハ所謂田舎ノ畠ニ耕シテ居ル馬ハ、食
物ニ於テモ手入ニ於テモ違ハナケレバナラ
又、サウ云フヤウナモノハ一體ドノ位掛ル
デアリマセウカ、サウシテ其ノ馬ハ、政府
ガ補助金ヲヤル馬ガ一體是ハ色々ノモノガ
出ルノデアリマスガ、是ハサウ云フヤウナ
モノヲ人ニ賣ツタリスル時分ニハ、色々面倒
ガ起ツテ來ルシ、サウ云フヤウナ價格ガ一體
ドノ位ノ價格ノモノニ認メルコトガ出來ル
ノデアリマセウカ、ソレデ金額如何ニ依ツテ
獎勵金ト云フ目的ニ喰込ンデシマフ、喰
込ンデシマッテ馬ヲ持ツテ居ル者ガ不幸ニ
シテ俺ノ所ニ宙ブラリンノ馬ガ出來タ、
國家ハオ前ノ馬ヲ大事ニシテ置ケ、賣ツテ
イケナイ、補助金ヲ吳レル、サウシテ
手入ガ惡イ、食物ガ惡イト云フコトニ
厄介ニナル、ドウモ手ガ掛ツテ、サウシテ心
配デ朝晩叱ラレテバカリ居テハ堪マラナイ
ト云フノガ、農家ニ起ル現象ダト心配スル、
之ヲ見越スコトヲ私ハ心配スルモノデアリ
マス、ソレ等ノ點ニ付テ一ツ簡單デ宜シウ
ゴザイマスカラ、御説明ヲ願ヒタイト思ビ
マス

○政府委員(荷見安君) 放牧地ノ關係ハ御
話ノヤウニ非常ニ必要デゴザイマスガ、是
ハ馬ヲ育成致シマシテ、之ヲ強健ニ育テル
爲ニ必要ナ問題ト、モウ一つハ經濟上ノ問
題デアリマシテ、放牧地ガ豐富デアレバ、
馬ノ飼育ニ關スル經費ガ非常ニ節約サレル
ト云フ點ノニツノ方面ガアルト思ヒマス、
ソレデ馬ヲ健全ニ、強健ニ育テマス爲ニ、
當認メラレテ居ルノデスガ、唯サウ云フ趣
旨カラ致シマシテ、經濟上ノ問題カラ致シ
マシテ、放牧地ガ無イト、馬ヲ飼育スルノ
ニ不經濟ニナツテ來ルト云フ點ハ、是ハ他ノ
問題デ緩和サレル問題デハナカラウカト思
フノデアリマス、此ノ兩方面ヲ睨ミ合セマ
シテ、我々トシテ最小限度ニ止メマスクレ
ドモ、又森林等ノ關係ニ於テ認メル範圍ニ
於テハ、出來ル限り之ヲ解放致スコトニ協
議ヲ致シマシテ、兩方面デマア最大限度ノ
可能ナル範圍内ニ於ケル放牧地ヲ、或ハ採
草地ヲ設ケテ行クト云フ趣旨デ進ム外ナカ
ラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ只今御質
問ノ軍用ノ保護馬ノ飼養者ニ對スル飼養料
ハ、一頭平均三十七圓ヲ計上致シテ居リマ
ス、農馬ト致シマシテハ、昭和十二年ノ調
査ニ依リマスト大體普通ノ場合ガ、百圓位

ノ飼養料ガ掛ルノデハナイカト云フ風ニ一
年ニ考ヘラレテ居ル譯デアリマシテ、其ノ
中ソレニ對シテ三十七圓程度ノモノヲ補助
スル、極メテ僅カデゴザイマスガ、サウシ
テ其ノ範圍デ出來ル限リノ飼養ノ改善ヲシ
テ貰ヒタイ、斯ウ云フ譯デゴザイマス、政
府飼育馬ニ付テハドレ位デアリマスカ、後
デ調ベマシテ……

○子爵會我祐邦君 サウ致シマスト只今ノ
御話デスト、三十七圓ノ補助金ヲ是ハ一年
ニ戴ク、サウシテ飼養者ノ方カラ言ヒマス
ト一年ニ百圓位掛ル、サウ致シマスト六十
三圓ノ持出シニナル、六十三圓ヲ持出シテ
育テル馬ガ飼ツテ居ル者ニドウ云フ利益ガ
アリ得ルノデアリマセウカ、是ハ實際問題
デナイ、三十七圓デモ幾ラデモ世話ハシマ
セウ、併シナガラ以前ハ自分ノ馬ハ博勞ニ
賣ルナリ、希望者ニ譲ルコトガ出來タモノ
ノデアリマス

○子爵會我祐邦君 私ノ伺ヒマスノハソレ
デナリ、三十七圓デモ幾ラデモ世話ハシマ
セウ、併シナガラ以前ハ自分ノ馬ハ博勞ニ
賣ルナリ、希望者ニ譲ルコトガ出來タモノ
ダカラ宜イガ、今度是ガ保護馬ニナリマス
ト、登錄デアリマスカ何デアリマスカ知リ
マセヌガ、或ハ自由ニ賣捌クヤウナコトガ
制限サレハシナイカ、昔博勞ト云フ言葉ガ
存在スルコトハ、御存知ノ通り五十圓デ買ツ
タモノヲ、二百圓デ賣ルト云フヤウナ氣分
ヲ博勞氣分ト心得テ居リマス、傷馬ヲ傷馬
デナイヤウニシテ騙カシテ賣ルト云フコト
デ、博勞ト云フ名ガ生レタカモ知レマセヌ
ガ、希望者ガアレバ幾ラデモ高ク賣ルトカ

何トカスルコトガ出来タカラ、十圓デモ、
熱心ニ手ニ手ヲ掛けテモ飼養スル樂ミモ見
込モアツタケレドモ、今度馬ガ勝手ニ賣ルコ

トが出来ナイトナシタナラバ農家ハ非常ニ
困リハシナイカト思フノデス、其ノ邊ハド

○政府委員(梅原安志) ンレノ輸出致シマ
シタリ又朝鮮、臺灣等ニ移出致シマスノニ
ハ、政府ノ許可ヲ要スルコトニナシテ居リ
マスガ、内地ニ於キマシテハ、ドノ縣ニモ
飽ク迄モ自由ニ賣買スルコトヲ認メル積リ
デゴザイマス、ソレカラ一言附加ヘテ置キ
マスガ、内地保有馬ノ資質向上ノ問題ニ付

用保護馬鍛錬會ト云フモノヲ作リマシテ、
是ハ補助金モ與ヘマセヌガ、地方ニ鍛錬ノ
實地ヲ致サセタノデアリマスガ、非常ニ成
績ガ良好デアリマシテ、產業用馬ト致シマ
シテモ、能力ガ増加致シテ居リマス、又馬
ガ運動等ノ爲ニ強健ニナリマシタ結果減耗
ヲ防止致シマスト云フ點モ非常ニアルヤウ
デアリマシテ、色々ノ點カラ農家ニ於キマ
シテハ有形無形ノ利益ガ相當アルト思ッテ

○大島健一君 先程私モア、云フ質問ヲ致シマシタガ、是ハ御説明ガアツタカラ、ホン

ノ一言ト思ツテ伺ッタノデアリマスガ、昨日
ノ委員長カラノ宣告ニ種馬統制法ト競馬法
トヲ、先ヅ問題ニスルト云フコトデアリマ
シタガ、段々質問ガ資源保護ノ方ヘ瓦ツテ
行キマス、今ノ會我子爵ノ質問ナド重要ナ
質問デアリマスガ、兎ニ角ソコ迄行クト全

如何カト思ヒマスカラ、何トカ形ノ付イテ
行クヤウニ三案一緒ニナレバソレデ宜シイ
ガ、昨日宣告ノヤウニ別々ニヤルト云フコ
トナラ、相當ニ議事ヲ進メテ行ク上ニ支障
ガアルト思ヒマス、サモナイト時間ガ掛ラ
ウト思ヒマス、序ニ一言申シテ置キマスガ、
先程伺ッタ種馬ノ雜種種馬、外國產種馬ト云
フヤウナコトヲ彼處ニ書カレテ居ルノハ、
事實ト違ツテ居ルノヂ、前ニモ申上ガタヤウ
ニ馬ニハ國籍ハ無イノデアリマス、何處ノ
馬デモ宜シイ、其ノ國ノ馬ニナレバ宜シイ
ノヂ、「イギリス」人ガ日本人ニナツタリ、日
本人ガ「イギリス」人ニナルノトハ違フ、何
處ノ馬デモ其ノ國ヘ持ツテ來レバ宜イ、ソレ
ガア、云フ風ニ書イテアルカラ、チヨット讀
ムノニ間違ヲ起ス、雜種ト云ヘバ何某ト何
某、外國種ノ「アングロノルマン」ト「イ
ギリス」ノ「フォールブルート」、或ハ外ノモ
ノト合ハシタトカ色々ナモノデアリマセウ

ケレドモ、ソレガ日本ニ合フト云フ御骨折
デ其ノ關係ガ、出來テ居ルノデ、イキナリ
ヘ持ツテ來テ各種ノ馬ヲ集メテ造ッタノガ、
日本ニ適當ナモノダト云フ是迄ノ御骨折デ
今日ノモノガ出來テ居ル、先程モ申シマシ
タヤウニ實ニ日本ニシテモ能ク馬ガ出來テ
居ルト思ツテ居ルノデアリマス、サウ云フヤ
ウナ種類ノモノデアルカラ外國ノ種馬ト云
フモノデヤナイ、日本ノ土地へ來タ馬ハモ
ウ日本ノ馬デアリマス、ソレデドウカ其ノ
ヤウナ考デ、アレハスッカリ明カニ書イテ
貰ツタラ宜カラウト思ヒマス、アンナ風ニク
ダラヌヤウナコトヲ書クカラ私ノヤウナ質
問ガ起ルノデ、名ヲ變ヘテ戴キタイト思ヒ
マス

計畫ノ問題デアリマスカラ、之ニ關スル御質問ナラバ如何様ナ御質問デモ差支ナイト存ジマス
○大島健一君 私ハ、今曾我子爵ノ御質問ノアツタヤウナコトバ、何レノ時カ伺フ積リデゴザイマシタ、尙今少シ深ク伺フ積リデ居リマス、サウ云フコトデソレハ廳テ保護法ニ亘ツテ行クノデアリマスカラ、議事ノ整理ノ上カラ一言申シタノデアリマスガ、今ノヤウナ御話デアレバ、只今ノ御説明ニ連關シテト云フ意味ニ於テ廳テ保護法ニモ關シ、種馬統制法ニモ關スル質問ヲ致シテ宜シイト云フ風ニ解釋致シマス
○予爵會我祐邦君 只今私ノ質問ニ付キマシテ問題ニナリマシタコトニ付キマシテ、私ハチヨット簡單ニ自分ノ質問ノ何ヲ申上ゲタイト思ヒマス、私ノ質問致シマシタノハ、御説明中ノコトヲ書抜キマシタモノヲ本體トシテ御質問致シマシタ、更ニ補助金ヤ何カノコトニ付キマシテハ、政府委員方此ノ本ニ依リマシテ、内地馬政計畫實施要領ト云フモノヲ御讀ミニナリマシテ、其ノ時ニ第七頁ニゴザイマス三ノ軍用保護馬ノ飼養者ニ對シ飼養補助金ヲ交付ス、之ニ關聯シテ質問シタ譯デ、脫線シタモノデハアリマセヌ、何卒惡カラズ御承知ヲ御願ヒ致

○子爵西尾忠方君 昨日種牝馬トカ云フヤ
ウナコトモ仰シヤツタヤウニ承ツタノデスガ、
ソレハ私ノ聽キ間違デアリマセウカ、只今
御話ノ通リデゴザイマスカ、其ノ點ヲ一應
御答ヲ願ヒマス

○政府委員(荷見安君) 種牝馬ハ競馬ニ出
走サセルト云フヤウナ意味合ヲ申上ゲマシ
タノデ、買フコトニハナツテ居リマセヌ、ソ
レカラ只今御質問ノアリマンシタ競馬出走馬
ヨリ昭和十二年末現在デ取得致シマシタ種
牡馬ノ數ハ、百十四頭デゴザイマス

○子爵西尾忠方君 競馬ノ馬政上必要デア
ルカト云フヤウナ點ニ付テモ、段々今御質
問ガゴザイマシタガ、此ノ「内地馬政計畫」

ノ第四ノ中ニ「競馬法ニ依ル競馬ハ馬ノ改
良ニ必要ナル種馬ノ能力ヲ検定シ種馬ノ取
得ヲ容易ナラシムル」其ノ「種馬ノ取得」ト
云フコトハ絶對モウ馬ノ改良上必要ナルコ
トデアラウト思ヒマスノデスガ、從ツテ此ノ
改良上、之ニ依ツテ種馬ノ検定ヲシ、同時ニ

國有種馬ノ補充ヲ之ニ依ツテ爲スト云フヤ
ウニ存ジマスガ、今後ハ主トシテ此ノ競馬
ニ依ツテ輕種ノ國有種馬ヲ御貿ニナリ、同時
ニ政府生産馬ヲ矢張リ此ノ競馬法ニ依ル競
馬ニ依ツテ能力ヲ御検定ニナルヤウナ御意
思ガアリマスカ、其ノ點伺ツテ見タイト思フ

ノデス、同時ニ先刻政府委員カラ御答辯ヲ
得マシタ百十四頭ヲ、年度ニ分ケテ御廻シ
ヲ願ツタラ大變都合方宜シイト思ヒマス、ソ
レカラ尙序ニ今ノ毎年將來ハ二十頭ヲ購買
スルト云フコトハ、一割ノ補充ト云フ意味
カラ御話ニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(荷見安君) 只今二十頭購買ト
云フノハ一割補充ノ方針デゴザイマス、ソ
レカラ年度別ニ今調ベタモノガゴザイマセ
スカラ、出來マスレバ調査ヲ致シマシテ新
シク作ツテ、競馬カラ取りマシタ種牡馬ノ數
ヲ差上ゲルコトニ致シマス、ソレカラ政府
生産馬ヲ公認競馬ニ出スカドウカト云フコ
トニ付キマシテハ、極ステ少數デアリマス
ノデ、是ハ今後研究致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 本日ハ此ノ程
度ニ於テ散會ヲ致シ、明日午前十時カラ開
會致シタイト思ヒマスガ、此ノ際政府ニ資
料御要求ノ御希望ガゴザイマシタ御申出
ヲ願ヒマス

○子爵西尾忠方君 今ノ馬ノ飼料ニ付テ御願
ヒシタインデスガ、軍馬ノ方ハ大抵分ツテ居
リマスガ、地方馬ノ方ハ麌トカ藁ガ主食ト
思ヒマスガ、其ノ配合サウ云フモノヲ表ニ
シテ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ
尙牧野ニ付キマシテ、牧野ノ面積ニ於テ、

實際ニ牧場デ牧草ヲ涵養シテ居ル、或ハ

出席者左ノ如シ

「オーチヤトグラス」トカ色々牧草ヲ涵養シ
テ居ル場所ガ、果シテドノ位牧野ノ中ニア

レカラ尙序ニ今ノ毎年將來ハ二十頭ヲ購買
スルト云フコトハ、一割ノ補充ト云フ意味
カラ御話ニナルノデゴザイマスカ

○侯爵西條隆徳君 チヨツト資料ニ付テ、公
認競馬カラ從來政府ニ御買上ニナツタ種馬
ノ、ソレ以外ノ馬ノ成行ニ付テドウ云フ方
面ニ其ノ馬ガ使ハレテ居ルカ、御調査ガア
リマシタラソレヲ頂戴シタイト思ヒマス、
要スルニ公認競馬ノ馬ノ、主トシテ牡馬ノ
競馬引退後ノ狀況ニ付テ調査ガアリマシタ
リ頂戴シタイ

○侯爵西條隆徳君 チヨツト資料ニ付テ、公
認競馬カラ從來政府ニ御買上ニナツタ種馬
ノ、ソレ以外ノ馬ノ成行ニ付テドウ云フ方
面ニ其ノ馬ガ使ハレテ居ルカ、御調査ガア
リマシタラソレヲ頂戴シタイト思ヒマス、
要スルニ公認競馬ノ馬ノ、主トシテ牡馬ノ
競馬引退後ノ狀況ニ付テ調査ガアリマシタ
リ頂戴シタイ

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口直亮君
副委員長 男爵千田嘉平君
委員 侯爵西郷從徳君
侯爵西郷從徳君
侯爵高倉篤慶君
子爵會我祐邦君
子爵西尾忠方君
大島健一君
堀切善次郎君
金杉英五郎君
高鳥順作君
男爵佐藤達次郎君
義壽君
三橋彌君
宇野勇作君
米原章三君
農林參與官
馬政局長官
朝鮮總督府財務局長
馬政局事務官
伊藤莊之助君
栗林忠道君
陸軍騎兵大佐
馬政局技師
佐久田伴久君

○侯爵西尾忠方君 今ノ馬ノ飼料ニ付テ御願
ヒシタインデスガ、軍馬ノ方ハ大抵分ツテ居
リマスガ、地方馬ノ方ハ麌トカ藁ガ主食ト
思ヒマスガ、其ノ配合サウ云フモノヲ表ニ
シテ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ
尙牧野ニ付キマシテ、牧野ノ面積ニ於テ、

○侯爵西尾忠方君 今ノ馬ノ飼料ニ付テ御願
ヒシタインデスガ、軍馬ノ方ハ大抵分ツテ居
リマスガ、地方馬ノ方ハ麌トカ藁ガ主食ト
思ヒマスガ、其ノ配合サウ云フモノヲ表ニ
シテ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ
尙牧野ニ付キマシテ、牧野ノ面積ニ於テ、